

岡崎市額田地域の森づくりを通じて地域に貢献

一般社団法人 奏林舎 代表理事 唐澤晋平

一般社団法人奏林舎は岡崎市額田地域を拠点に森林整備に取り組む団体です。地域に根差した長期的な森づくりを通じて、山里と流域全体の持続的発展に貢献することを目指して活動しています。現在、職員2名と臨時の方が若干名います。私を含め、額田に移住してきたメンバーが多いのが特徴です。

額田地域の森は岡崎市を流れる乙川の水源地でありながら手入れの遅れた人工林が増えており、昨今全国で頻発する洪水や土砂災害の発生が危惧されています。私は森林・環境に関する仕事をしたいという思いから2014年に額田地域に移住し、副業的に個人事業として細々と森林整備をしていましたが、よりしっかりと森に向かっていきたいために昨年3月に法人化しました。

奏林舎は森を活かした仕事づくりも目指しています。かつては林業で栄えた額田ですが急速に過疎高齢化が進んでいます。一方、田舎に移住したい、自然の中で働きたいという若い世代も増えており、そうした方々が山で稼げる受け皿になりたいと考えています。

主な事業内容としては、自分では山の手入れができず困っている山主様に施業提案し(場合によっては境界調査から)、作業道の開設や搬出間伐を行っています。搬出した材は市場や製材所に出荷するほか、C材については自社で薪に加工し薪ストーブユーザー、石窯ピザ屋さん等に販売しています。



搬出間伐における搬出の様子

また森林環境の保全は山側だけで解決できる問題ではなく、下流域に生活するより多くの市民に森林や木づかいに関心を持ってもらうことが重要だと考えており、森林環境教育にも積極的に取り組んでいます。地元小学校での出前授業や一般市民を対象にした間伐体験、森林に関するセミナー、ネイチャーツアー、薪割体験、焚き火体験、木工体験など、森と木に関する様々な体験プログラムの企画・運営を行っています。

4年前に発足した額田木の駅プロジェクトの事務局を担っているほか、昨年6月に実施されたおかざき森の健康診断(市民参加の森林環境調査)にも参画するなど、地域とも連携しながら額田の森をより良くするための様々な活動に関わっています。



イベントでの薪割り体験

そう簡単には儲からない林業の厳しさに直面する日々ではありますが、岡崎森林組合や額田林業クラブ、製材所など、地域で活躍する林業・木材業の先輩方の支えもあり無事に1年目を終えることができました。林業分野では私たちのような新しい組織はただそれだけで注目されがちですが、これまで半世紀以上も額田の森を育ててきていただいた地域の皆様がいたからこそ、今私たちの事業が成り立っているに過ぎません。こうした山主様の思いを次の世代につなげられるよう、また豊かな森の恵みを流域に暮らす市民の皆さんに届けられるよう、これからも精一杯貢献していきたいと思います。